

様式4

令和6年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立境港総合技術高等学校

学校長 新 田 真 也

評 価 日	令和6年6月20日(木)	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 目標設定について ・概ね適切な設定 ・専門性の深化と幅広い学習をしてほしい		1 ・スクールミッション、スクールポリシーに沿った教育を実践していく。
2 評価項目と目標達成のための取組について ・基本的生活習慣の確立に関連して、小学校から高校まで一貫した指導が必要である。小学校の頃からそういう意識を持っていかないと、高校生も生活習慣が整わない。 ・地域との連携と情報発信に関連して、地域連携担当の教員は、仕事が増えることになってはいないか。週休日のイベント参加など、勤務の取り扱いはどうなっているか。		2 ・主には、基本的生活習慣の乱れが原因だと把握している。状況が深刻な場合は、SC、SSW等を活用して対応している。 ・業務が増えているのは連絡調整等で、協力いただいて助かっている。イベント参加などは業務として取り扱い、週休日の振替で対応。
3 具体目標について ・志願者数を増やすことに関して、電気電子科の生徒の入学人数の推移はどうなっているか。		3 ・今年度1年生は11名と減少。工業系は心配。ただし、資格取得においては、自主的に学習する生徒が増え合格率も上がっている。機械科は自動車整備で集まってきている。
4 目標達成のための具体方策について ・機械科のインターンシップでは、整備と板金を実際に取り組んでもらっている。「興味を持つ」「好き」が呼び水となり、職業にのめりこんでいくことがある。 ・SNS等の情報発信はとても積極的にできている。		4 ・「好き」というのがモチベーションの中にあると、伸びていくと考えている。自動車整備がやりたくて入ってきた生徒には期待している。 ・メディア戦略の一つで、学校の情報発信に役立てている。生徒募集につなげたい。

5 その他 ・県外募集を始めているが、寮についてはどうなっているか。 ・学校とイベントに関して、教員との連絡手段は、メールが有効的である。 ・最近の若い世代は、車に興味がない。機械科で3級自動車整備を取得し、その後人材センター（費用が抑えられる学校等）で上級の資格取得を目指してほしい。 ・自動車もハイブリッドやEVなど変わってきている。勉強の仕方も変わっていくのか。	5 ・玄孫ベースは現在入居していないが県東部からの問い合わせもあり、7年度には入居が見込まれる。旧誠道小学校は境港市からの通知待ちの状況。地元企業の社宅利用についても打診している。 ・業務用個人Gメールアドレスが使用可。 ・今年度の1年生には自動車整備がやりたくて入ってきた生徒がいる。補習なども受けて、中国大会にも出場する。 ・職員もメーカー主催の研修に参加するなど対応をしている。
--	--